

9月7日茨城県知事選挙！あなたは誰に投票しますか？

～期日前投票は始まっています！あなたの1票が茨城県の未来を左右する！～

インターネットの一部では**地獄の茨城県知事選挙**と呼ばれる今年の選挙。あなたは候補者を知っていますか？

1. 文春が**パワハラ**による13人の**自殺**の記事を報道！現茨城県知事！

おおいがわ かずひこ

推薦：自民党、維新党、国民民主党、公明党

大井川 和彦 氏

元IT企業役員

週刊文春(3月20日号)で報じられた衝撃のニュース。現職の茨城県知事の下の部局で

13人が自殺し、100人以上が精神的な被害を受けて休職をしている。

冷静に想像してほしい、あなたの息子や愛娘が知事部局で仕事をしていたとする。

その時は公務員として安定した仕事に就いていると誇らしい気持ちだろう。

けれども、ある日突然**この世界に一人しかいない大切な我が子が**

職場のパワハラによって自殺するのだ…

13人もの尊い命が大井川知事の下で失われた…

彼、彼女らには親がいて、結婚している人、子供を持つ人もいたかもしれない。

このまま大井川知事に茨城県知事を続けさせるべきであろうか？



文春オンライン

2. **日本共産党・社民党**が応援する新人…

たなか しげひろ

推薦：日本共産党 支持：社民党

田中 重博 氏

茨城大学名誉教授

茨城大学名誉教授は立派な肩書。しかし、彼を推しているのは**日本共産党**に**社民党**

はたして、彼は日本人のために政治をしてくれるのか疑問を感じてしまう。

日本共産党は脱税(不正な確定申告)や生活保護の不正受給に関与している疑いがあり、

そのしわ寄せは法律を守って**真面目に働いている人への税負担**となります。

また、巨額が払われてしまっている**外国人への生活保護**。これがさらに加速すれば、

ますます働く人が報われない歪んだ社会構造が進むことになる恐れがあります。



元共産党員が語る実態

3. **元航空自衛隊員**の後ろ盾のない**無所属の新人**。対抗馬足りえるのか？

うちだ まさひこ

推薦：なし

内田 正彦 氏

元航空自衛隊員、元会社員（警備業）

役員でも、教授でもない元会社員。知事としての適正があるのか疑問は残る。

しかし、本人は「**茨城県民ファースト**」を掲げており、

彼自身は**参政党**を応援しており、現在問題となっている**公務員の国籍要件撤廃の是正**、

環境破壊の原因となる**大規模太陽光発電「メガソーラー」の見直し**を訴える。

また、**外国人への生活保護**や**土葬墓地整備に反対**という立場を主張している。

自腹で立候補に必要な高額の供託金(約300万円)を収めており、

彼が本気で茨城県を守るために、強い信念を持って行動していることに疑いは無い。

政党の組織票に勝って**彼が当選するには私たち県民が一人でも多く投票**しなければ、

彼が当選することはできない。



内田正彦氏 政見放送
↑通常のQRコードリーダーで読み込めます。

はじめ 肇 論 評

ペンネーム 仲野はじめ

～私たちは何を選択するのか？～

今年の参院選は茨城県の2議席で自由民主党と参政党が議席を獲得しました。これまでは自由民主党と民主党(立憲民主党)がこの2議席を取ってきましたが、若者の投票率が大きく上がり、参政党の櫻井祥子さんが立件民主党の候補に勝って議席を獲得しました。また、全国比例で日本保守党が2議席を獲得して、国政政党入りを達成した事も忘れてはいけません。私たちの一人ひとりの投票が組織票に勝利することが出来る。それを証明する選挙になりました。

では、なぜ参政党と日本保守党の票が伸びたのでしょうか？

それは「日本人を守る」これを明確に宣言し、国会の議会の中でも公約を有言実行してくれているからです。外国から日本人を守るために「スパイ防止法」の議案を提出し、度重なる増税によって苦勞している日本人を守るために「ガソリンの暫定税率廃止」の議案を提出して、廃止される見込みとなりました。

今の日本は国際的に見て世界2位の重税国家となっています。しかも、勤務している会社が社員毎に支払う、会社負担分の社会保険料を含めた場合、日本はダントツの世界1位の重税国家です。

現在、自由民主党の石破総理は、「日本の財政状況はギリシャ以下だ」と語ります。

ですが、石破・岩屋は海外に対してお金を出してばかりです。「減税する財源が無い」と語る一方で、アメリカに約80兆円という途方もないお金を出し、アフリカ等の海外支援に何回も億を超える支援金を払い、私たちから取った税金を民意を問うこともなく、日本の資産を海外に使い続けています。

また、現在の与党である自由民主党の墮落ぶりはこれだけではありません。

前岸田内閣の際に岸田元総理は労働人材不足を理由に外国人労働者の受け入れを拡大しました。そして、岸田元総理の弟が行っている事業がインドネシアからの人材派遣です。

小泉元環境大臣が進めた政策がソーラーパネルの推進です。その財源は再エネ賦課金導入つまり増税です。

岩屋外務大臣は中華人民共和国からお金を受け取った疑惑は晴れず、議員宿舎に入った中国人女性を通報せず、そのまま逃がすというありえない対応をした挙句に、中華人民共和国で滞在ビザの期間を10年に伸ばすことを、外務省で議論をすることなく、個人で決めてしまいました。

中国人による土地売買の対策を外交を理由に行わない石破総理。今現在も土地が外国人に買われています。

こういった自由民主党への若者の不信感が選挙への関心を高めると共に、これらの政策に反対している政党、つまり、参政党と日本保守党が大きく議席を伸ばすきっかけとなりました。

参政党と日本保守党を応援する人は何を考えているのか。それは「日本を守りたい」その一言に尽きます。

墮落した自由民主党の被害は今も続いています。

茨城県内でも外国人グループにより太陽光発電施設の銅線が盗まれたり、大量のキャベツが盗まれました。釧路湿原ではメガソーラーの開発が行われ、自然が破壊されています。許可したのは小泉元環境大臣です。国防動員法(戦争の際は渡航先の中国人は国家の為に戦わなければならない法律)と国家情報法(中国人は国の要請があれば情報を提供するスパイにならなければならない法律)がある中華人民共和国のビザ緩和。

自衛隊基地周辺や離島、水源地を買い漁っている中国人。拠点やスパイ活動に利用される危険があります。

私たちの住む日本はこの政党で大丈夫か、子供たちの未来をどう守るか、選択する時ではないでしょうか？

仲野はじめオススメのYoutube動画 ⇒⇒⇒
(通常のQRコードリーダーで読み込めます。)

↓↓↓ 選挙以外で意見を県に伝えるには ↓↓↓

県民相談センター
029-301-2147 (8:00~17:00)
email@pref.ibaraki.lg.jp



中華人民共和国の問題



メディアが報じない問題